

# おあしす



特定医療法人 **南山会**

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな  
・アルプス訪問看護ステーション

2026

6

第40巻6号  
(通巻466号)



—— 峡西病院の理念 ——

**「その人らしさをともに創造する」**

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、  
より良い人生を伴走していく

院内研修

医療介護現場での生成AI活用術

当院では、患者さんによりよい医療をお届けするとともに、職員が安心して働ける環境をつくるため、院内の仕事を少しずつ便利にする取り組みを進めています。

先日は、医療や介護の現場でのAIやデジタル技術の活用に詳しい公認会計士の長英一郎さんをお招きし、当院の取り組みについて助言をいただきました。

これまで進めてきた電子カルテとの

連携や会計業務の工夫について評価を受ける一方で、会議の記録作成や情報共有など、まだ改善できる点も見えてきました。今後は、音声入力や文字起こし、問い合わせ対応を助ける仕組みなどを上手に取り入れ、職員の負担を減らし、その分、患者さんへのより丁寧な対応につなげていきたいと考えています。個人情報保護に十分配慮しながら、地域の皆さまに信頼される病院を目指してまいります。



オープンセミナー

認知機能を維持して  
幸せに生きる



5月14日、山梨県生涯学習推進センターにおいて、峡西病院院長の川崎が「認知機能を維持して幸せに生きる」というテーマで講演を行いました。

長生きすることが当たり前になりつつある今、大切なのは「どれだけ長く生きるか」だけではなく、「どうすれば自分らしく、幸せに暮らせるか」を考えることです。講演では、認知症は生活習慣の見直しや早めの気づきによって、予防や進行を遅らせることが期待できると説明がありました。たとえば、適度な運動、バランスのよい食事、十分な睡眠、禁煙や節酒に加え、聞

こえにくさをそのまま放置しないことが大切なポイントだと紹介されました。

さらに、認知機能を守るうえで欠かせないのが、人とのつながりです。ご家族や友人、地域の方と会って話すこと、笑うこと、役割を持つて過ごすことは、心の健康にもつながります。認知症になっても、その人らしく安心して暮らせる社会であることが何より重要です。当法人も、地域の皆さまがいいきいきと毎日を送れるよう、これからも健康づくりと支え合いを大切にしてまいります。

令和6年度  
幸せ発表会

◆ 努力賞 ◆

訪問看護

田原慎之介  
村松奈々子

目標

手順書を作成し、訪問時におけるスタッフの関わり方を統一化し、訪問看護の質の維持を図る。また、手順書の更新について話し合いを定期的に行い、更新していく事で、訪問看護の質を高める。

目的・理由

今回の手順書作成のきっかけとして、昨年度のスーション事業計画に「統一した看護の提供の為、手順書を作成する」という計画が掲げられていました。

手順書を作る事で、期待できる効果の1つとして、利用者様への関わり方に一貫性を持たせる事で、訪問者よっての対応のばらつきを防

ぎ、訪問看護の質の維持を図る。

2つ目に情報を常に更新していく事で、利用者様への理解を深め、更なる訪問看護の質の向上に繋げていくのではないかと、思い、この目標に取り組みました。

方法

書式決定後、担当看護師と共に月12名を目標に、利用者様約140人分を作成しました。内容として、それぞれの利用者様の現病歴や生活歴、家族関係といった背景から、訪問時の対応や特徴、服薬管理方法などを記載。

進捗状況確認を3ヶ月ごとに所長と行い、半年ごとにスーション内で内容の見直しを行いました。

利用者様が入院や就労、家族関係や服薬管理方法など、状況に大きな変化が生じた際には、適宜更新を行い、常に最新の状態にしています。

令和7年3月に、訪問時に持ち出す全利用者様のファイルに手順書を差し込み、目標達成となりました。

活用例と成果

今年3月にはすべての利用者ファ

イルに手順書を差し込み、訪問時に参照できる体制が整いました。

活用例の1つ目ですが、訪問先で、利用者様が混乱している状況でも「第二金曜は掃除の日」などといった、スケジュールを確認する際に活用する事が出来ました。

2つ目に、診断名や生育歴だけでなく、訪問時の作法や利用者の拘り、薬のセット方法等を詳細に記載した事で実用的な手順書となり、利用者様への理解を深める事も出来ました。

3つ目に、異動して来たスタッフへの利用者様説明の際に「必要最低限の情報」として事前に通読して頂きました。これは今後、異動者だけではなく、新入社員の方にも有効だと思われれます。

4つ目に、訪問利用者様が入院する際、情報提供ツールとして使用する事が出来ました。

5つ目に、研修医・学生が来た際の事前の参考資料としても役立てられました。

課題と展望

現在は手順書を全利用者様分格納し終えた段階で、今後は「どう活かすか」を更に模索していく必要があら

ります。1つ目は、僅かな事例ではありませんが、活用例の項目でもお話ししたように、利用者様入院時に、手順書を病棟へ前情報として提供する事が出来ました。今後は院内だけではなく、他施設や他機関への情報提供の

際にも活用していけたらと考えています。

2つ目に、院内関係者だけでなく、各支援者や研修医、学生といった第三者が閲覧した際の意見も取り入れ外部へも使用するツールとして、より内容や見やすさの精度向上を図っていきたくと考えています。

3つ目に、現在は紙媒体で管理していますが、昨年度から導入された電子カルテは、タブレットで持ち運びが可能であり、写真機能も備わっている為、今後は手順書を電子カルテ内にデータとして保存できるようにすれば、いつでも確認・更新が可能となり、より利便性が高まると考えます。今後は、電子カルテのメーカーとも可否の協議を進めていきたくと考えています。

4つ目に、利用者様の情報が多岐にわたり記載されている為、取り扱いは細心の注意が必要である事を再認識しました。先ほどの電子カルテ内に入れ込む等、セキュリティ面の強化を今後検討していく必要があると思われました。

まとめ

手順書の作成を通じて、訪問看護の質を維持するだけでなく、理解を深めることができました。今後はこのツールをどう活かしていくかを考えながら、多職種連携の質もさらに高めていきたいと考えています。

## OT・PT だより



4月28日(火)にブリエ病棟レクリエーションにて、鉄板焼きそば会を行いました。午前にOT室前の芝生広場に、テーブル、いす、ガス台、鉄板を準備して、材料のキャベツ、ウインナーを切りました。午後から、病棟の患者様を誘導して、外気浴をしながら、鉄板での焼きそば作りを見学して、器いっぱいの焼きそばをいただきました。美味しいとおかわりする方も多かったです。病棟レクでの大がかりな室外企画は、数年ぶりでしたが、大好評でした。



## リハビリテーションセンターだより

2026年度部署異動にて13年ぶりにOT矢崎さんがリハビリテーションセンター(以下、RC)に帰って来てくれました。矢崎さんにインタビューさせていただきました。

- Q** 久しぶりのRCはいかがでしょう？
- A** 13年ぶりのフレンズです。場所が変わり、名前も変わっており、まるで浦島太郎です。ここはどこ、何をすればいいの？といった感じです。
- Q** RCで今後行いたいことを教えてください
- A** まずは、皆さまの名前と顔が一致するようにし、仕事が徐々に分かるようにしていきたいです。その後に何をしたいか考えていこうと思います。

・・・これからもよろしくお願いします・・・

## プログラム紹介

### リワーク心理教育 復職準備型プログラム

【活動曜日】 毎週水曜日午後

【活動内容】

毎週水曜日の午後にはリワーク心理教育というプログラムをミーティングルーム3で行っています。  
この心理教育は主に4つの要素によって構成されており、①ストレス対処、②自己理解の促進、③休息・睡眠、④リワーク制度関連について学ぶ場となっています。  
基本的にはスタッフ側から情報提供していく形の流れですが、参加者の感想や気付いたことを共有したり、1つの情報から様々な考え方や、受け止め方を学ぶ機会にもなっています。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

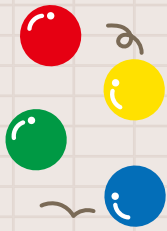
\*ホームページをぜひ、ご覧ください。

関西病院 リハビリのご案内 検索

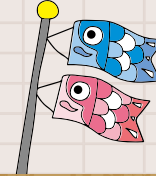
# ろうけんTimes

今月の TOPICS★

## 3F 通所 リハビリ



レクリエーションでは、坂道を転がるカラーボールを色ごとにキャッチして仕分けるゲームを行いました。最初は色分けに苦戦する姿もありましたが、慣れてくるとテンポよくキャッチできるようになっていました。実際に挑戦している方はもちろん、周りで見守る方々も一緒に声を上げて盛り上がっていました!!



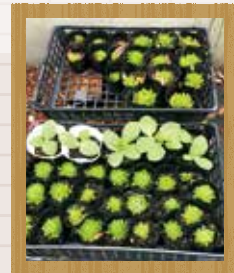
## 2F 認知症 専門棟

制作の会では5月5日の端午の節句に向け鯉のぼりを作成しました。参加した方々は全員女性でしたが、きっと昔のことを思い出しながら皆色とりどりの折り紙を上手に切り抜き、カラフルな鯉のぼりを完成させておりました。写真の顔から皆さんの満足感が伺えます!



## 1F 一般棟

園芸グループでは、爪蓮華の株分けと植え替え、そしてかぼちゃの種まきを行いました。皆さん慣れた手つきで、作業はとてもスムーズに進みました。鉢をひっくり返した際には、小さなムカデが姿を見せて驚く一幕もありました。またかぼちゃの種は順調に育ち、元気な苗へと成長しています!



\* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

# 本の紹介コーナー

今回は、Tさんにおすすめの本を聞きました！

## 本の題名：情報セキュリティの敗北史 脆弱性はどこから来たのか

(作者：アンドリュー・スチュワート／出版社：白揚社)

### ●読んだきっかけは？

情報セキュリティに関心があり、何冊かの本を読む中で出会いました。

### ●おすすめのポイントは？

タイトルに「敗北史」とあるように、過去から現代にいたるまでのコンピュータの発展と、それに伴って増えていくセキュリティリスク等々の「敗北の歴史」が紹介されています。セキュリティに目を光らせて守る側は、いつ、どのような手法で、どのような脆弱性についてくるか分からないハッカーに対して、常に怯えていなければならず、常に不利な戦いを強いられます。また、十分に対策が練られた現代においては、それを使用する人間を狙った手法（フィッシング等）が多用されます。コンピュータを利用する人間への教育の難しさ等、読みながら身につめられるような思いでした。

## 患者の権利と責任

あなたには、「その人らしさをともに創造する」の理念の下、治療の主体者として、以下の権利と責任があります。

1. 必要かつ十分な医療サービスを、あなたにふさわしいやり方でいつでも受ける権利
2. 治療の主体者として、医療者と協力して病気を治すことに参加する責任
3. 病名・病状・予後・診療計画・薬の名前や作用・副作用、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利
4. 個人の秘密が守られる権利および私的なことに干渉されない権利
5. 自分の患者としての行動に適用される病院の規定・規則を知る権利とそれを守る責任
6. 自分が受けた医療等に関する費用の請求を点検し、説明を受ける権利と、決められた期限までに請求された医療費等を支払う責任
7. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責任
8. 治療上必要な必要最小限の行動の制限を受けることがありますが、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に定められた、面会・通信の自由、退院請求を行う権利及び治療・対応に対する不服申立てをする権利と、これらの請求や申立てをしたことによって不利に扱われない権利

私には雨女の自覚があります。友達とバーベキューをすれば7割くらいの確率で雨、旅行先でも高確率で雨が降ります。

木漏れ日に照らされる神秘的な風景と名高い宮崎県の高千穂峡に旅行した時は、どんよりとした空模様で、神秘的というよりは見慣れた近くの河原の印象でした。よく映画の舞台となる尾道で、坂のある景色から瀬戸内海を眺めようと思ったところ、雨に濡れた坂道の階段で足を滑らせて転んでしまいました。熊野古道を歩くツアーに参加した時には、那智の滝は雲がかかり、半分の高さしか見えず、古道を歩く頃になると、横

# 万華鏡

梅雨の時期を迎え、気温差や冷房の影響で体が冷えやすくなる季節になりました。私はとても寒がりです。どのくらいかというところ、春になってもヒートテックが手放せず、冬は「これから山に登るの？モコモコだね」と言われるくらい着込んでしまいます。

寒がりには特別なことではなく、一般的な調査でも3割近くの人が自覚しているとも言われています。私自身もその一人として、寒さを



## 私の趣味

殴りの雨にて中止。

しかし、どんよりとした渓谷の景色も、雲間からみた雨に煙る瀬戸内海の景色も、雲間から落ちる滝も、見方を変えれば旅行雑誌などでは見ることが出来ない落ち着いた風情を感じる景色でした。

物事には表と裏があり、両方の側面から見る事で気付かない事に気付く、豊かな気持ちになれるものだと感じました。晴天でも雨天でも、良い事も悪い事も視点を変え、これからも旅行を楽しみたいと思います。きつとこれが、私の趣味と言える事なのでしょう。

少しでも和らげたいと思い、原因について調べました。

すると、筋肉量の少なさやホルモンバランスの乱れ、血行不良などが関係していることがわかりました。夏場でも冷房の効いた室内では寒さを感じる事が多く、寒がりにとっては1年を通して冷え対策が必要だと感じています。

そこで、日々の生活の中で出来ることから少しずつ見直してみることになりました。

私の寒がりの原因として、筋肉量の少なさであると考えました。それを改善するために、適度な運動を取り入れ、筋肉量を増やして体温を上げやすい体づくりを目指そうと思いました。急に1時間歩くの

は無理だけれど、いつもより5分、10分多く歩いてみようと考えました。まずは、継続すること、無理なく続けることを目標に始めました。少し歩いてみると、季節の花が咲いており、犬の散歩や走っている人とすれ違つこともあります。

歩くたびに、小さな発見や気分転換になり、今日ほどの道を歩いてみようと思ふようになったらいいなと思います。すぐに大きな変化があるわけではありません。寒さを完全に無くすことは難しくても、自分の体と向き合いながら、無理のない方法で続けていこうと思います。

これから、寒さに負けない体づくりを目指し、より快適に過ごせるよう続けていきたいと思っています。

### こちら編集室

当法人は1957年(昭和32年)7月2日に創立され、来年で70周年という節目の年を迎えます。1957年を振り返ってみると、日本初の南極観測基地である昭和基地の開設、100円硬貨の発行開始、コカ・コーラの国内販売が始まるなど、新しい時代の始まりを感じさせる出来事が数多くありました。また、翌年には長嶋茂雄さんの巨人入団が大きな話題となりました。今では当たり前に身近にあるものや、今も語り継がれる出来事が生まれた時代と、当法人は歩みをともしてきたことを感慨深く思います。

人間に置き換えると、70歳は「古希」と言われます。由来は、唐の詩人杜甫が「人生七十古来稀なり」と詠んだことにちなむそうで、平均寿命が30代〜40代だった当時、70歳まで生きられることは非常に珍しいことであり、大変めでたいことだったようです。

来年の70周年という大切な節目に向けて、法人の歩みを振り返りながら、皆さまにより身近に感じてもらえるような様々な広報企画の準備を進めております。これからの歴史を大切にしながら、これからも地域に寄り添い、皆さまとともに歩み続けていける法人でありたいと思います。

**今月の予定 6月**

10日  
診療会議

11日  
1日看護師交流イベント

19日  
県精神障害者スポーツ  
レクリエーション大会



**「おあしす」に関するアンケートにご協力をお願いします**

いつも「おあしす」をご愛読いただきありがとうございます。より良い広報誌を目指していくために、アンケートにご協力をお願いします。

■ 下記QRコードからアンケートへの回答をお願いします。

**おあしす広場**

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

ぼくのこと心配してるよ雨蛙 今福 和人

夏陽成り陽差しさけてはヨシズ立て 大森真知子

なつかしや父のおもかげ花菖蒲 カナメ

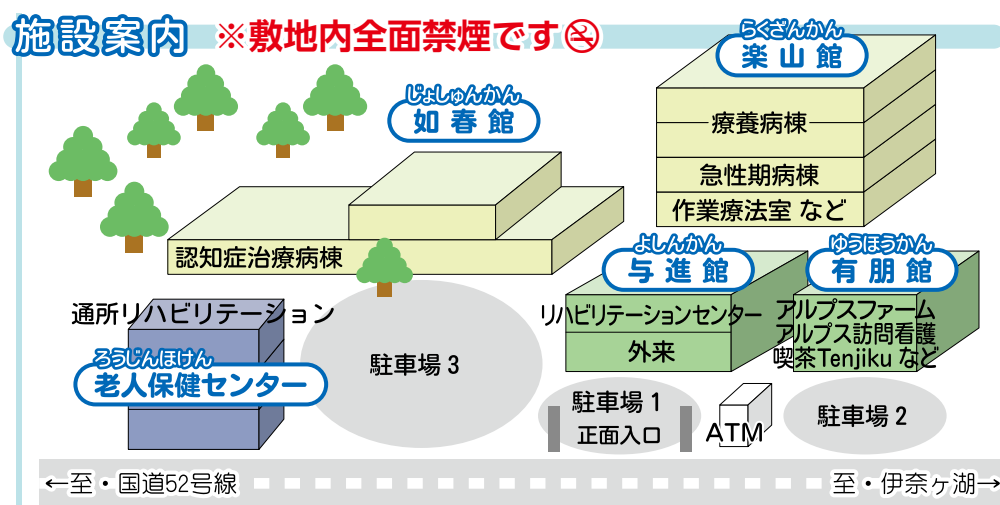
祖母田植私どろんこはしゃぐ声 なつな

あつき夜に蚊が飛びまわり足たたき 保坂五十鈴

初夏の頃みかんの花が咲きにけり 渡辺 あき

いろいろな光と出会ってみたいね 渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。



- 交通案内**
- JR中央線  
甲府駅より車で40分
  - JR身延線  
東花輪駅より車で15分
  - 中央高速  
甲府昭和ICより車で30分
  - 中部横断道  
南アルプスICより車で5分
  - 山交バス  
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分